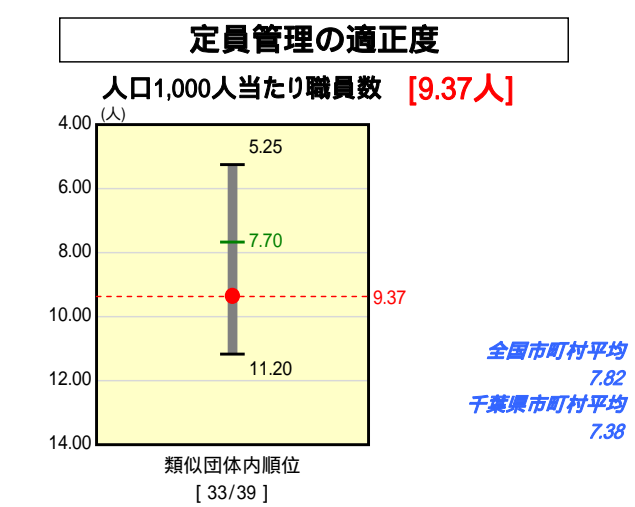
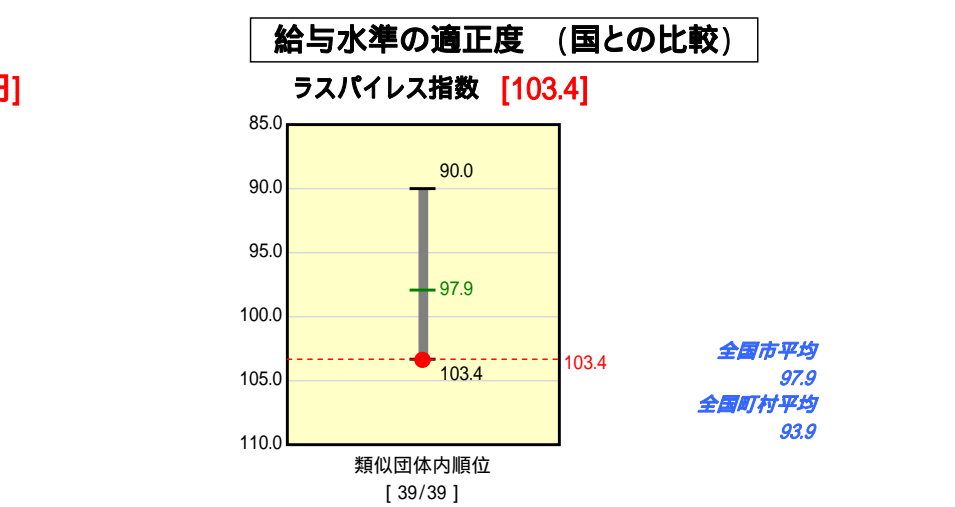
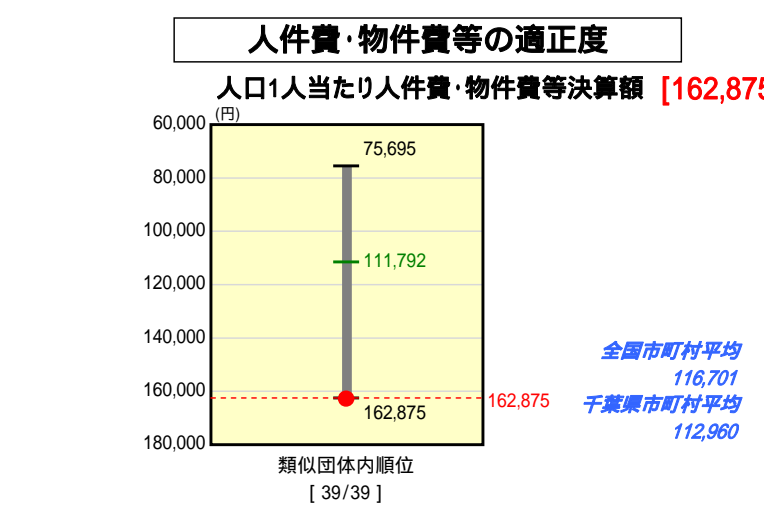
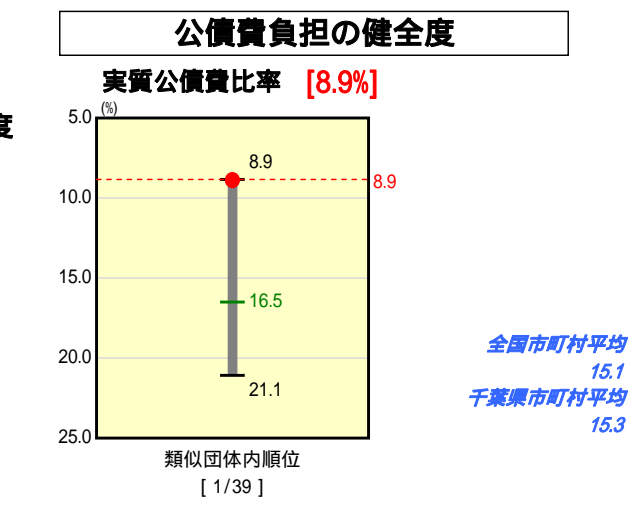
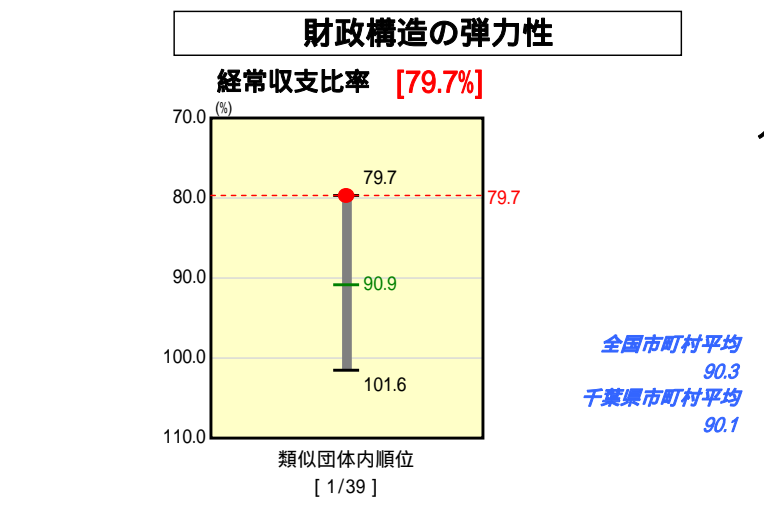
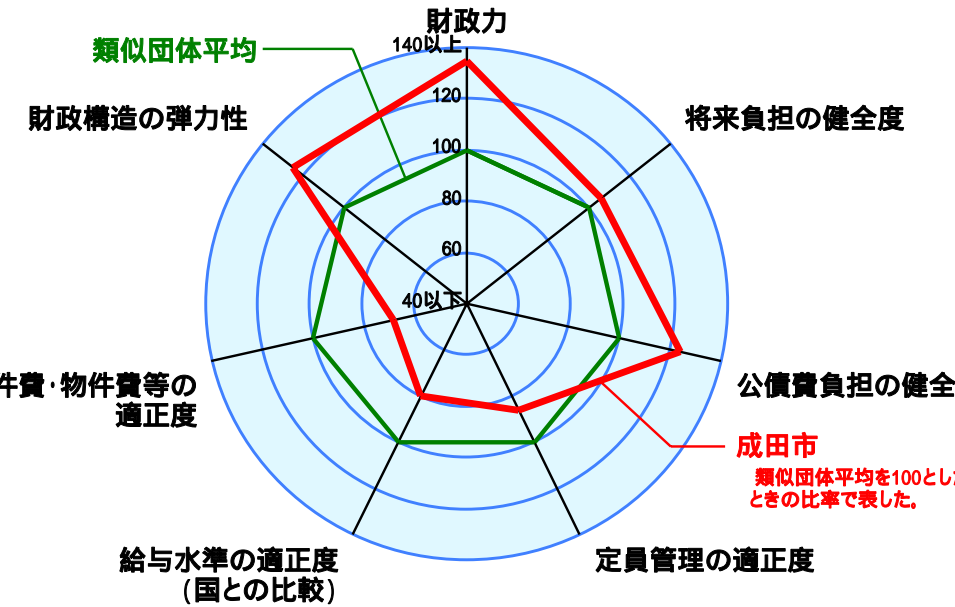
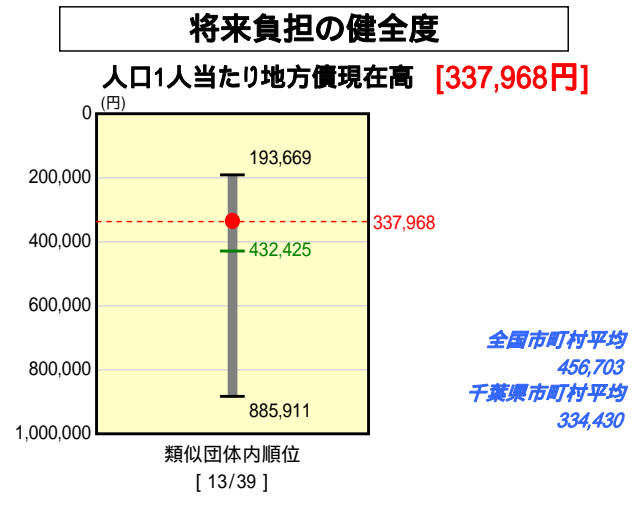
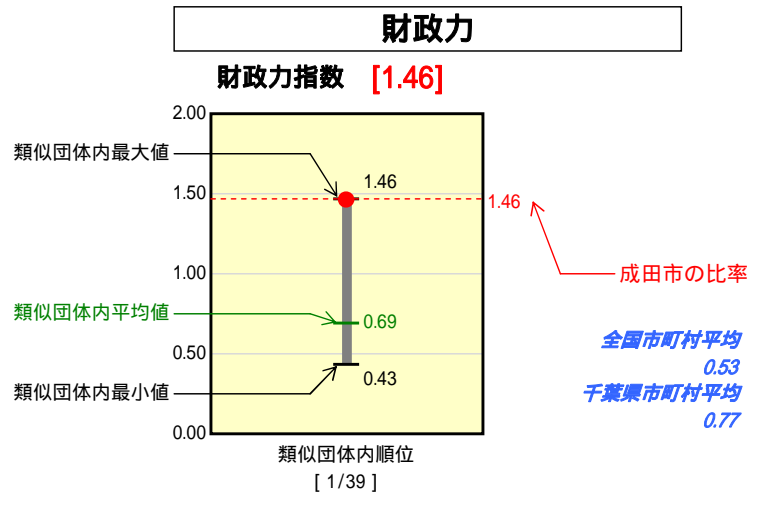


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

千葉県 成田市

人口	122,231人	(H19.3.31現在)
面積	213.84	km ²
歳入総額	53,226,764	千円
歳出総額	50,488,412	千円
実質収支	2,475,350	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数：税制改正による定率減税の縮減及び高齢者控除の廃止等の要因による個人市民税の増収並びに空港関連の税収に支えられ、前年度同様類似団体内でトップの財政力指数となっている。今後とも行政の効率化に努めることにより、財政の健全化を確保する。

経常収支比率：昨年度と比較して4.8ポイント上昇しているが、類似団体内では最も低い数値であり健全な財政構造を確保している。しかしながら扶助費及び公債費等の義務的経費が増加傾向にあることから、今後行政評価等の活用により事務事業の見直しを行い、経常経費の削減に努める。

実質公債費比率：適切に事業を実施していることにより、類似団体と比較すると大幅に低い数値となっている。しかしながら今後「総合5か年計画06」に基づく大規模事業の進捗に伴い、起債の借入額が増えることが想定されることから、長期的な財政運営という視点に立ち、財政の健全性に努める。

人口1人当たり：施設整備の拡充により地方債現在高は累増しているものの、類似団体平均と比較して低い水準にある。今後、大規模事業の進捗により地方債の増加が見込まれるが、適切な事業の実施に努め、引き続き適正な水準を確保する。

ラスパイレズ指数：近隣2町との合併があったことから給与構造改革の導入時期が国より遅れたことが主な要因となっており、類似団体比較して高い水準となっている。今後、初任給基準の見直しをはじめ、給料水準の適正化に努める。

人口1,000人当たり職員数：空港をかかえている関係で空港対策部門や消防署が設置されているほか、救護施設を設置しているなどの要因により、類似団体平均を上回っている。現在、事務事業の見直しや民間委託の推進等による職員数の削減を行っており、今後も適正な定員管理に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額：空港をかかえていることなどの特殊要因により、相当の職員数を確保し、騒音対策及び消防関係等の行政需要に対応していること、並びに平成17年度に近隣の2町との合併により職員数が増加したことにより、類似団体と比較して1人当たりの決算額が大きくなっている。今後、集中改革プランに基づく事務事業の見直し、職員定数の削減及び職員給与の適正化等により経費の抑制に努める。